

INFORMATION

No. 29025

平成30年2月26日

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。 敬白

記

■ 実施日 2018年3月1日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2839	便中カルプロ テクチン 5C235-0000-015-023	糞便	専用 容器	凍結 (28日)	4~8	276 ※5	FEIA	50.0以下 潰瘍性大腸炎の内視 鏡的非活動状態のカ ットオフ値300以下 (mg/kg)	 他項目との 重複依頼は 避けてくだ さい。

※5：免疫学的検査判断料



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター


〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

● 便中カルプロテクチン〔FEIA〕


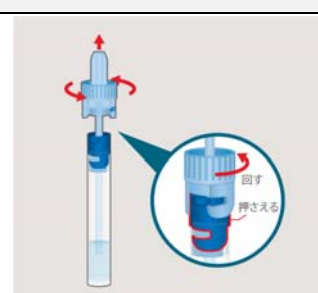
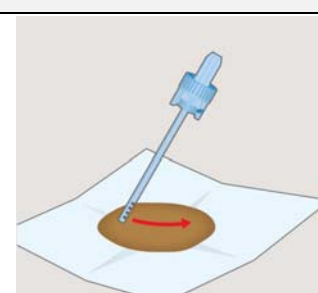

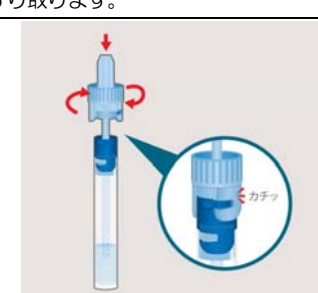
炎症性腸疾患の診断補助、潰瘍性大腸炎の病態把握に有用な腸管炎症マーカーです。

便中カルプロテクチンは、腸管の炎症度を反映する非侵襲性のマーカーです。これまで、保険適用範囲は「潰瘍性大腸炎の病態把握の補助」に限られていましたが、FEIA法で測定した場合、「慢性的な炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病等）の診断補助」としても使用可能となりました。炎症性腸疾患が疑われる症例について腸管炎症の有無を判別することで、より効率的な内視鏡検査の実施および診断に貢献することが期待されています。

▼検査要項

検査項目名	便中カルプロテクチン
項目コードNo.	2839
検体量	糞便
容器	専用容器
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	4～8日
検査方法	FEIA
基準値	50.0以下 潰瘍性大腸炎の内視鏡的非活動状態のカットオフ値 300以下 (mg/kg)
検査実施料	276点（「D014」自己抗体検査「27」）
判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備考	 他項目との重複依頼は避けてください。

▼専用容器の取り扱い方法

容器形態	検査項目	保存
 <p>専用容器</p> <p>内容 トリス緩衝液 BSA アジ化ナトリウム (0.1%以下) 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 1年</p>	便中カルプロテクチン〔FEIA〕	凍結
	採取方法	
	 <p>1. キャップの青色部分を押さえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。</p>	 <p>2. スティック先端の4つの溝が、十分に埋まるように便をこすり取ります。</p>
	 <p>3. スティックの先端についた便をトイレットペーパー等で取り除きます。</p>	 <p>4. スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分が青色部分にカチッと合まるまで右に回します。</p>
<p>●注意事項 容器中の保存液が、目や口に入ったり皮膚に付着したりしないようご注意ください。誤って付着した場合は水で十分に洗い流してください。</p>		

●参考文献 松岡 克善, 他: 医学と薬学 74 (6) : 717~726, 2017. (臨床的意義参考文献)